

令和7年国勢調査における国の広報の概要について

1 重点テーマ

(1) 調査の重要性等の理解促進・回答促進のための広報

- ・国勢調査の実施について、広く周知する広報を実施
- ・調査に無関心な層やプライバシー意識が高い層に対して、物事の判断基準や社会的価値観に基づく区分（セグメント）別に、最適なタイミング・内容・表現・メディアで広報を実施

(2) インターネット回答の促進のための広報

- ・スマートフォンでは数秒でログインできることを強調する広報を実施
- ・インターネット回答が「かんたん・便利・安心」であり、インターネットでの回答を依頼する広報を実施

(3) サポーター企業等を通じた回答依頼等の広報

- ・サポーター企業等と協働・連携し、従業員等に対して生活空間における調査回答依頼等の広報を実施
- ・サポーター企業等の獲得のための広報・協力依頼とともに、獲得に向けた営業活動を実施

2 国が実施する主な広報施策（予定）

(1) 100日前イベント

- ・調査期日の100日前（令和7年6月23日）に、国勢調査の機運醸成を図るキックオフイベントを開催
- ・テレビCMのお披露目、松平健さんなどの広報キャラクターが参加し、メディアを通じて国勢調査を広く一般に周知する。

(2) SNS

- ・若年層に向けて、公式SNS（X）（5月末開設予定）により国勢調査の取組などを随時発信

(3) インターネット広告

- ・時期や訴求対象に合わせた広報キャラクターやメッセージ、出稿媒体などを出し分けて広告を展開
- ・動画配信サービスの利用拡大を踏まえ、NetflixやTVerによる広告を新たに導入
- ・出稿期間は、6月24日（火）～10月8日（水）を予定

【出稿媒体（予定）】

バナー：Google、Yahoo!、Smart News、News Picks、趣味人倶楽部

動画：YouTube、Instagram、TVer、X

リスティング広告：Google、Yahoo!、Bing

(4) テレビCM

- ・調査時期に合わせて訴求内容を変えたCMを放送
 - ①調査回答促進：9月16日（火）～10月1日（水）
 - ②締切間近：10月2日（木）～10月8日（水）
- ・47都道府県の主要なテレビ局への出稿
- ・放送時間は「コの字型」

(5) ラジオCM・音声広告

- ・在日外国人向けに6か国語（※）のラジオCMを放送
※英語、中国語（簡体語）、韓国語、ベトナム語、ポルトガル語、スペイン語
- ・出稿期間は9月16日（火）～10月8日（水）
- ・出稿局は、InterFM、FM COCOLO、LOVE FMの3局を予定
- ・Spotifyによる多言語（※）の音声広告を導入
※日本語、英語、中国語（簡体語）、韓国語、ポルトガル語、スペイン語
- ・日本人向けには、ラジオ広告素材（松平健さんによる20秒の音声素材）を用意

(6) 新聞広告

- ・調査書類配布に合わせて新聞広告を9月20日（土）に出稿
- ・読売新聞・朝日新聞にカラー全5段で出稿予定
- ・その他業界紙等へも出稿予定

(7) その他の広告

- ・ポスター、デジタルサイネージなどその他多様な媒体による広報を実施予定

(8) オンライン回答啓発事業

① 郵便局でのオンライン回答支援ブース

- ・郵便局のイベントスペース等の空きスペースにおいて、回答用タブレット端末と支援スタッフを配置した「オンライン回答支援ブース」を開設
- ・来局者への回答呼びかけを行うとともに、希望に応じてオンライン回答支援を実施
- ・人口規模や郵便局の立地条件に応じ、全ての都道府県に最低1箇所、全国で300局程度

開設期間：令和7年9月22日（月）から10月8日（水）まで（土日祝日を除く12日間）

開設時間：午前9時から午後4時まで

② オンライン回答啓発イベントの開催

- ・商業施設など人が多く集まる施設において、オンライン回答を啓発するイベントを開催
- ・「国勢調査オンライン」（電子調査票）の体験版を用いた回答体験ができるようにするなど、施設利用者への回答呼びかけを実施
- ・集客を図る観点から、八大都市圏（周辺都市含む）の8エリアにおいて複数回実施

開催時期：令和7年8月中旬から10月上旬までの間